



JA長野厚生連安曇総合病院

き ず な

第 316 号

発行: 〒399-8695

北安曇郡池田町池田 3207-1

TEL(0261)62-3166 (代)

JA長野厚生連安曇総合病院

発行責任者: 院長 畑 幸彦

編集: きずな編集作業部会

<http://www.azumi-ghp.jp/>

印刷: PO 印刷(株)

中川前院長を引き継ぎ安曇総合病院の管理に携わって半年が経過した。木曜日に富士見始発5時56分、明科着7時10分の普通列車で病院に通う生活にも慣れてきた。雪をいただき朝日に映える北アルプスの峰々を背景に、水を張った田園、安曇野の中央を流れる犀川と萌えいする岸辺の緑、川のない八ヶ岳のふもとに住む私にとってこの風景はいつも新鮮で、終日たえずで光によって変わりゆく眺望をのんびりと楽しめたらと思う。

私は厚生連の理事会から、中川前院長退任後の安曇総合病院の再構築が順調に進ぶようにとの要請を受け、中南信担当の理事としてこの病院の管理を任されることになった。前院長から伺ったものの、のどかな田園



安曇総合病院 統括院長代行 井上 憲昭

One for all, All for one

風景とは違って病院には厳しい問題が山積していた。何よりも驚いたのは、医師によって仕事量が大きく違っていること、必要だからという理由で経済性を無視して運営されている事業が多くあることだった。

厚生連の病院は独立採算制を原則にしている。自治体立の病院と違ってどこからも運営費の補助は無い。「農協が後ろについているから心配がないでしょう」とよく言わ

れるが、出資という形で利子のないお金を借りることができるだけで、もし病院が赤字になれば返済が不能な融資となり、農協に貸し倒れ引き当てが生じて、組合員に多大な迷惑をかけることになる。佐久の故若月先生が「病院を赤字にしてはいけませんよ」と口癖のように言っておられたのも、協同組合として病院事業を存続させるためには、経営の安定が何より重要だとの認識があったからだと思う。

それでは経営の安定がどこから生まれるのかと問われれば、よい医療の提供からとしか答えようがない。今いる医師達でできる医療だけでなく、地域住民が望み、必要としている医療を、病院の職員が全員で提供する必要がある。特に住民が不安を持つ救急においては、いつでも、どんな病気で、この病院に来さえすれば安心だ」という信頼感をもっていただけていることが何より重要である。そのためには、少しでもゆとりのある医師や職員が、忙しい医師や職場に協力する姿勢が必要となる。

“One for all, All for one”、ラグビーの精神をよく表わしているこの言葉は、今の安曇総合病院にこそ必要な言葉だと思う。Oneを個々の職員や診療科に、Allを他のすべての職員や診療科と置き換えればその意味が分かるだろう。新病棟の建設がきっかけとなって職員の一体感が高まることを期待したい。

大北地域にあって安曇総合病院と市立大町総合病院はどちらも厳しい経営状況にある。この地域で医療が崩壊すれば、人口減少に拍車がかかることは明らかである。南北にある二つの病院が、ありふれた病気の治療を安心して任せられる病院としてともに存続し、お互いが得意とする分野の医療を充実させ、松本に行かなければ医療が受けられないという状況を改善しなければならぬ。職員は危機感を共有し、護るべきは各々の病院ではなく地域住民であることを忘れず協力し、大北の地域医療は自分たちの肩にかかっているのだとの自負を持って仕事に励んでいただけたらと願う。

梅雨時の 食中毒対策について

感染管理認定看護師 三好幸三

1 近年の食中毒情報

24年度のように、冬季は、ノロウイルス等によるウイルス性食中毒や感染症が多く、梅雨の時期は、細菌性食中毒が多発する傾向にあります。このように時期によって食中毒の傾向が異なるようです。

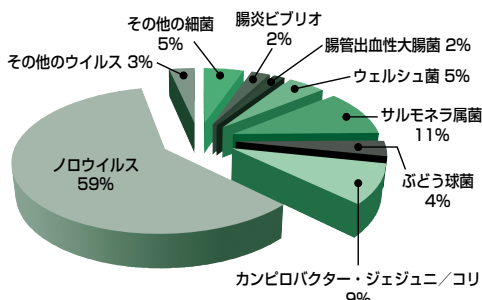
では、病原菌別による食中毒発生比率についてはどうでしょうか？

2010年、厚生労働省食中毒統計資料のデータを基に、おもな病原菌別比率のグラフを作成しました。

食中毒の原因にはいろいろありますが、この中で、梅雨の時期に多い細菌性食中毒の原因菌について、取り上げてみたいと思います。

食中毒発生件数の主な病原菌別比率 (2010年)

厚生労働省食中毒統計資料より



2 細菌性食中毒の 主な原因菌について

特にこの時期多い食中毒菌3種類とその特徴・発生予防について紹介します。

①黄色ブドウ球菌

◆特徴

あらゆるところに広く分布しています。菌の増殖に伴い、食品中に「エンテロトキシン」という毒素が生産されます。菌は加熱することにより死滅しますが、「エンテロトキシン」は、加熱しても死活しにくい特徴を持っており、毒素性の食中毒とも言えます。

◆おもな症状

悪心・嘔吐など。

潜伏期間は、1～6時間と短い。

◆原因食品

黄色ブドウ球菌に汚染された手でつくられたおにぎり・弁当類・菓子類などが原因です。

②カンピロバクター・ジェジュニ/コリ

◆特徴

鶏・牛・ペット等あらゆる動物が保菌しています。菌は加熱により死滅しますが、近年、食中毒の発生件数が多いようです。こちらは、感染性の食中毒の分類になります。

◆おもな症状

下痢・腹痛・発熱・頭痛・嘔吐など。

潜伏期間は、2～5日

◆原因食品

鶏肉(ささみなどの刺身、鶏のタタキ・鶏わさなどの半生製惣)加熱不足の肉などが原因です。

③サルモネラ属菌

◆特徴

家畜(牛・豚・鶏)の腸管内に常在しています。菌は加熱することで死滅します。こちらも感染性の食中毒の分類になります。

◆おもな症状

下痢・腹痛・嘔吐などの急性胃腸炎及び発熱・悪心・嘔吐・頭痛など。

◆原因食品

食肉(牛・豚・鶏)及び鶏卵などが原因です。

3 食中毒発生を防ぐために

食中毒予防の三原則は、食中毒菌を「付けない・増やさない・菌を殺す」ことです。

①料理に使う材料は直前まで低温で保管しましょう。

②調理前、食べる前、トイレから出た後、外出した後に十分な手洗いをしましょう。

③手に切り傷がある場合は、ブドウ球菌に汚染されていることがあるため、調理時には手袋を着用しましょう。

④加熱して調理する食品は、十分加熱しましょう。

⑤調理後の料理は低温で保管しましょう。

⑥調理後、時間が経過しているものは、食べないようにしましょう。

メーデー開かれる

大北地区労働組合連合会事務局 内田 美寿子



今年もまずまずの天気とはいえ、景気と同様大きな冷え込みの中、第84回大北地区労働組合連合会メーデーが行われました。労働者が権利要求のために統一行動を行う日であるメーデーは、国際機関によって定められた国際デーとなっており、多くの国で祝日となっており、要求を掲げ団結と連帯の力を示す労働者の日として発展してきました。

日本では1920年5月2日(日曜日)上野公園で第1回メーデーが行われました。およそ1万人の参加労働者は「8時間労働の実施」「失業防止」「最低賃金法の制定」などを訴えています。今年のスローガンと少しも変わっていない気がします。労使の関係は昔から変わっていないのか、景気回復しない現在、使用者が当時と同様に強硬姿勢で歩み寄りを見せないためか…。

今年のメーデー参加総数は148名、うち当院の参加者は60名でした。他参加団体として高教組・年金者組合・新日本婦人の会・北アルプス民主商工会・日本共産党・北アルプス合唱団・中信農民センター・国民救済会そのほかの皆さんが参加しました。メーデー開催にあたり参加団体代表者による2回の実行委員会と前々日の準備(宣伝カーのデコレーションや集会用掲示タイトル作成)等多くの時間を費やして終結されるメーデーではありますが、メーデー反省会にて年々盛り上がり欠けており、この辺で参加者が心一つになれる様なプログラムが必要と感ずる人も多くいました。私も労働組合活動を初めて経験した頃は他人の様であり、シュプレヒコールにも独特の違和感を覚えたのですが、こんな不景気の時代に突入し、労働組合活動が労働者である我々を守ってくれている事に感謝できる年齢を迎えています。メーデースローガンに掲げられた国家規模の要望が少しでも政治に反映される様あきらめない継続的な取り組みが大切だと考えています。今こそ団結ガンバロウ! 参加頂きました組合員の皆様 寒い中大変お疲れ様でした。



担 当 医 表

平成 25 年 6 月

		月	火	水	木	金	土
内科	内科（一般） 初 診	岡田光代 芹澤由樹子	東方壮男 塩月記代	川上裕隆 塩月記代	川上裕隆 芹澤由樹子	早野敏英 岡田光代	東方壮男（第1のみ） 早野敏英（第3のみ）
	内科（一般） 再 診 （ 予 約 制 ）	川上裕隆 東方壮男 林田研介	川上裕隆 岡田光代 林田研介	早野敏英 東方壮男 岡田光代 林田研介	早野敏英 林田研介 塩月記代 （午後から診療）	川上裕隆 林田研介	早野敏英（第1のみ） 岡田光代 林田研介
	循環器内科	東方壮男	池田宇一（信大）	東方壮男	阿部直之（信大）	東方壮男	
	呼吸器内科	堀内俊道（信大）				花岡正幸（信大） （第1・3・5のみ）	藤本圭作（信大） （第1のみ）
	神経内科	林田研介	林田研介	林田研介	井上憲昭（9:30～） 林田研介	林田研介	林田研介
	腎臓内科	芹澤由樹子	芹澤由樹子（予約） （午後から診療）		芹澤由樹子 上條祐司（信大）		
	リウマチ・膠原病						信 大
在宅支援科（予約制）			薛 孝太郎 （14:30～16:00）				
精神科・心療内科	精神科 心療内科 （ 予 約 制 ）	村田志保 中村伸治 樋端佑樹 中村敏範 古屋昌宏 田中 章 鬼頭 恒（信大）	村田志保 中村伸治 樋端佑樹（AMのみ） 古屋昌宏（第1・3・5のみ） 田中 章	村田志保 中村伸治 樋端佑樹（第1・2・3のみ） 田中 章 中村敏範 衛藤高明（第1・3・4・5のみ） 古田 康	村田志保 中村伸治（第1・2・3のみ） 長村哲周 樋端佑樹 中村敏範（第1・3・4のみ） 古屋昌宏	村田志保 中村伸治 中村敏範 古屋昌宏 田中 章	中村伸治 樋端佑樹 古屋昌宏
	認知症診療（予約制）	（輪番）	薛 孝太郎	（輪番）	（輪番）	（輪番）	（輪番）
小 児 科	午前	信 大 原 敏博	保刈 健 （原 敏博）	原 敏博 （保刈 健）	保刈 健 （原 敏博）	原敏博 又は 保刈健	信 大 （原敏博 又は 保刈健）
	午後	特殊診療（予約）	乳児検診（予約）		慢性疾患（予約）	慢性疾患（予約）	
外科	一般外科	佐藤敏行	佐藤敏行	佐藤敏行	久保直樹 久米田 茂喜	久保直樹	久保直樹
	専門診療			信 大（乳腺） （予約）		信 大（甲状腺）	
呼吸器外科		花岡孝臣			花岡孝臣		花岡孝臣
形成外科 （受付15時30分まで）			安永能周（信大） （13時から診療）				
整形外科	新患受付 （受付10時30分まで）	鎌仲貴之 （受付9時30分まで）	狩野修治	柴田俊一	王子嘉人	（輪 番） （診療開始9時30分から）	（輪 番）
	予 約	畑 幸彦 最上祐二 王子嘉人 柴田俊一	柴田俊一 鎌仲貴之 高橋淳（信大）	最上祐二 王子嘉人 狩野修治	狩野修治 鎌仲貴之	畑 幸彦 最上祐二	
皮膚科		河内繁雄 葭矢裕之	河内繁雄 葭矢裕之	河内繁雄 葭矢裕之 学童診療（15時～17時） 初診（当日）受付16:30まで	河内繁雄 葭矢裕之	河内繁雄 葭矢裕之	河内繁雄 葭矢裕之
泌尿器科		平林直樹	平林直樹	平林直樹	平林直樹 西澤 理（信大） （14時～15時）（予約）	平林直樹	平林直樹
産婦人科		信 大（予約）	曾根原衛雄			信 大（予約）	
眼 科		太田いづみ	今井玲子		太田いづみ・今井玲子 （午後コンタクトレンズ 要予約）	太田いづみ （受付10時まで）	今井玲子
耳鼻咽喉科 （受付16時まで）			信 大 （14時から診療）			信 大 （14時から診療） （第2・4のみ）	信 大
放射線科					信 大		
麻 酔 科 （受付11時まで）		松本正紀	松本正紀	松本正紀	松本正紀	松本正紀	松本正紀
リハビリテーション科		狩野修治	最上祐二 王子嘉人	鎌仲貴之	（輪 番）	柴田俊一	
歯科口腔外科		中嶋 哲 宮下みどり	手術日 （急患対応は要相談）	中嶋 哲 宮下みどり	中嶋 哲 宮下みどり	中嶋 哲 宮下みどり	中嶋 哲 宮下みどり